



2024年4月19日
森下仁丹株式会社

「福山・鞆の浦 観光鯛網」への協賛を実施

森下仁丹株式会社（本社：大阪市中央区／代表取締役社長：森下 雄司）は、創業者 森下博（1869～1943）の生誕の地、広島県福山市の鞆の浦にて、2024年4月27日（土）～4月29日（月）・5月3日（金）～5月6日（月）まで開催される「鞆の浦観光鯛網」に協賛いたします。

森下博は、1923年（大正12年）に開催された第1回観光鯛網から支援を行っています。

開催から93回目を迎える現在では、鞆の浦の初夏の風物詩として親しまれています。

当社は今後もさまざまな取り組みを通して、次の健やかさと豊かな暮らし作りに貢献してまいります。



■鞆の浦と森下博・森下仁丹とのつながり

森下博は鞆町・沼名前神社の宮司の家に生まれ、会社創業・仁丹発売後は、鞆の浦の観光鯛網への資金援助や奨学資金の創設、社寺の改修費の寄付など、地元の発展に尽力しました。鞆の浦では森下博の取り組みに応え、沼名前神社に森下博の寿像を建立し、現在でも像は「仁丹さん」の愛称で親しまれています。そのほかにも、共催イベントの実施、当社の「大礼服マーク」入り町名珉瑯看板の設置、学校教育の題材に森下博を取り上げるなどの活動を行っており、森下仁丹は今後も鞆の浦の発展に寄与していきたいと考えています。



鞆の浦鯛網案内
(過去資料)

■当社ゆかりの地域への支援活動について

当社は、創業者 森下博の生誕の地である広島県鞆の浦との繋がりを大切にしています。これまで地域発展の一助となるべく、様々な活動を続けてきました。当社社長も現地の鞆の浦に赴き、江戸時代から続く伝統漁法「鯛しばり網漁法」の豪快さや地元の賑わいを体感しました。今後も鞆の浦をはじめ当社とゆかりある場所との絆を一層深めながら、地域活性はもちろん伝統の継承や文化資産の保全に貢献していきたいと考えています。

■「鞆の浦観光鯛網」とは

「鞆の浦観光鯛網」とは、約 390 年前の伝統漁法を再現した催し物です。鞆の浦は、春にマダイが産卵のために帰ってくるため、そのマダイの魚群を待ち構えて獲る「鯛しばり網漁法」が行われていました。仙酔島から出航する観覧船に乗って、伝統漁法が行われる様子を観覧することができます。「鯛しばり網漁法」は、2015 年（平成 27 年）3 月に福山市無形民俗文化財に指定されています。

<概要>

開催日： 2024 年 4 月 27 日(土)～4 月 29 日 (月)・5 月 3 日(金)～5 月 6 日 (月)

開催時間： 11 時 00 分～(全日 1 回のみ)

観覧特典： 抽選で鯛・保命酒のどちらか 1 点をプレゼント

鯛網で捕れた鯛・小魚を特価で即売

鯛網終了後、鞆の浦史跡めぐりを無料案内（希望者のみ）

鯛網観覧券提示で福山自動車時計博物館に無料で入館できます。

※2024 年 12 月 31 日まで

乗船場所： 仙酔島乗船場（住所：〒720-0202 広島県福山市鞆町後地）

所要時間： 約 1 時間 10 分

ホームページ： <https://www.fukuyama-kanko.com/travel/taiami/>

※詳細はホームページをご確認ください。